読響 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra



活力みなぎるサウンド、濃厚なハーモニー
ヴァイグレのタクトが内なる感情を呼び起こす！

巨人

ウィーン国立歌劇場やメトロポリタン歌劇場、
ベルリン・フィルなどで活躍するドイツの名匠
指揮＝セバスティアン・ヴァイグレ（常任指揮者）
Conductor= SEBASTIAN WEIGLE (Principal Conductor)

マーラー 交響曲第1番

©読響

ハンス・ロット：「ジュリアス・シーザー」への前奏曲
HANS ROTT: A Prelude to "Julius Caesar"

モーツァルト：
ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K. 364
MOZART: Sinfonia Concertante for Violin and Viola in E flat major, K.364

マーラー：交響曲第1番 ニ長調「巨人」
MAHLER: Symphony No. 1 in D major "Titan"



人気と実力を兼ね備え
国内外で活躍する気鋭
ヴァイオリン＝三浦文彰
Violin= FUMIAKI MIURA

モーツァルト ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲

©Masahiro Uto



豊潤な音色で20年にわたり
読響を牽引する名手
ヴィオラ＝鈴木康浩（読響ソロ・ヴィオラ）
Viola= YASUHIRO SUZUKI (YNSO Solo Viola)

©読響

読売日本交響楽団
第295回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 295
2027年
3/6（土）
Saturday, 6 March 2027

読売日本交響楽団
第295回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 295
2027年
3/7（日）
Sunday, 7 March 2027

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390
10時～18時・年中無休（年末年始を除く）

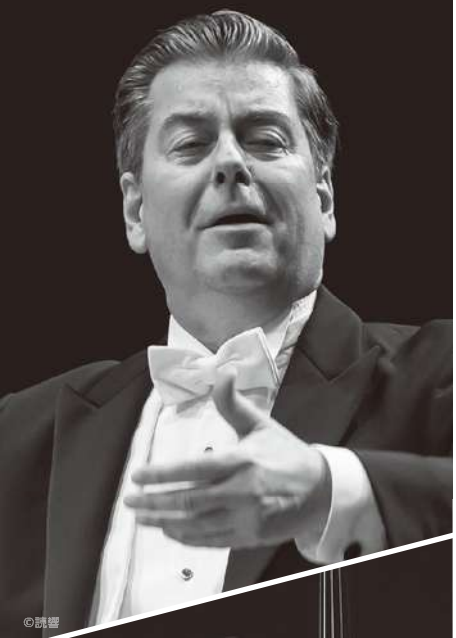
学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

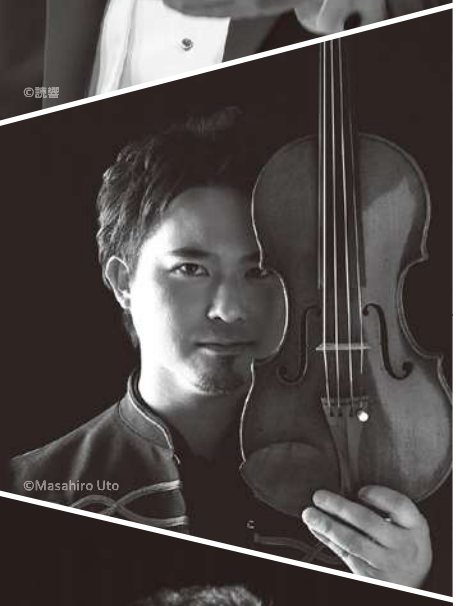
https://yomikyo.or.jp/

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団　共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）　助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

沸き立つ感情。名匠ヴァイグレが「巨人」に新たな息吹を吹き込む！

三浦文彰と鈴木康浩が共演し、至高のモーツァルトを披露。







2026年度シリーズ公演の最後を飾る演奏会。「第295回土曜・日曜マチネーシリーズ」に、ひととせの締めくくりに相応しい出演者とプログラムが揃いました。常任指揮者を務める名匠、世界で活躍するヴァイオリニスト、読響が誇るヴィオラの名手。そして、交響曲の大家が生んだ最初の傑作。3月の時期にピッタリな、華々しい春色のフィナーレとなるでしょう。

ヴァイグレが読響と共にマーラー作品を披露するのは約7年半ぶり。前回は常任指揮者への就任直後、19年に交響曲第5番を指揮しています。そして今回、彼は第1番の「巨人」をセレクトしました。「巨人」は若かりしマーラーの“青春”が詰まった作品です。新しい世界への憧れや、少し苦い失恋の味。そんな青く眩しい感情が各楽章に込められています。ヴァイグレと読響も、長い時の中で様々な経験を共にしてきました。出会いがあれば別れもある。常任指揮者としての最終シーズンを目前にして、ヴァイグレはどんな音楽を聴かせてくれるのでしょうか。

加えて、モーツァルト「ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲」も待望せずにはいられません。この作品は題名の通り、ヴァイオリンとヴィオラがソロを担う協奏曲。2人の奏者が同じ旋律を繰り返し、まるで互いの音色を融合させるように進んでいきます。独奏を務めるのは日本を代表する名手のコンビ。三浦文彰の卓越したテクニックと鈴木康浩の豊潤な音色が出会い、極上の音楽が奏でられることでしょう。今回限りの贅沢なコラボレーションをご堪能ください。

2026／2027シーズンの終幕には打ってつけの、どこか嬉しさと寂しさが共存するプログラム。この演奏を聴いているうち段々と、ホールに芽吹いた春を感じるかもしれません。

セバスティアン・ヴァイグレ
SEBASTIAN WEIGLE, Principal Conductor（常任指揮者）

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。1961年ベルリン生まれ。82年にベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者となった後、巨匠バレンボイムの勧めで指揮者へ転身。2003年には雑誌「オーパンヴェルト」の年間最優秀指揮者を受賞。04年から09年までリセウ大劇場の音楽総監督を、08年から23年夏までフランクフルト歌劇場の音楽総監督を務め、その手腕が高く評価された。バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、ベルリン・フィル、バイエルン放送響、ウィーン響、フランクフルト放送響などで活躍。24年には読響の欧州ツアーを成功に導いた。

三浦文彰（ヴァイオリン）
FUMIAKI MIURA, Violin

抜群のテクニックと情熱的な演奏で聴衆を魅了する俊英。ハノーファー国際コンクールにて史上最年少の16歳で優勝。ドゥダメル、ゲルギエフらの指揮でベルリン・ドイツ響、ロサンゼルス・フィル、マリインスキー劇場管などと共演。NHK大河「真田丸」テーマ曲の演奏などで話題を呼んだ。2018年からサントリーホールARKクラシックスのアーティスティック・リーダーを、24年から宮崎国際音楽祭の音楽監督を務めている。21年にはロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスを務めた。22年に「フォーブス」誌の「30 Under 30 Asia(世界を変える30歳未満の30人)」に選出。使用楽器は、株式会社クリスコ(志村晶代表取締役)貸与のグァルネリ・デル・ジェス「カストン」(1732製)。

鈴木康浩（読響ソロ・ヴィオラ）
YASUHIRO SUZUKI, YNSO Solo Viola

2006年から読響ソロ・ヴィオラを務める名手。5歳からヴァイオリンを始め、桐朋学園大学を卒業後ヴィオラに転向。第9回クラシックコンクール全国大会ヴィオラ部門第2位(1位なし)、宝塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位など多数受賞。01年からベルリンのカラヤン・アカデミーで研鑽を積んだ後ベルリン・フィルの契約団員となり、ドイツ各地で精力的に演奏を行う。帰国後は室内楽をはじめとして幅広く活躍し、サイトウ・キネン・フェスティバル、宮崎国際音楽祭など国内主要音楽祭にも数多く出演している。読響とはカンブルラン指揮のベルリオーズ「イタリアのハロルド」、下野竜也指揮のヒンデミット「白鳥を焼く男」、山田和樹指揮の別宮貞雄のヴィオラ協奏曲などでソロを務めて絶賛された。

読売日本交響楽団 第295回 土曜マチネーシリーズ
2027年3月6日（土）14時開演
S ¥8,800／A ¥6,600／B ¥5,500／C ¥5,000

読売日本交響楽団 第295回 日曜マチネーシリーズ
2027年3月7日（日）14時開演
S ¥8,800／A ¥6,600／B ¥5,500／C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール（池袋） 東京都豊島区西池袋1-8-1　Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（＊駅地下通路2b出口と直結しています）

学 学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。託児サービス 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります（公演1週間前までに予約）。株式会社明日香0120-165-115（予約受付：平日9時-17時）■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390
＊10時ー18時・年中無休（年末年始を除く）

読響チケットWEB https://yomikyo.pia.jp/
＊座席選択可／チケット郵送料無料

プレイガイド | チケットぴあ https://t.pia.jp/ | 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296